

28田財第284号
平成28年10月3日

部 課 長 各位

総務部長 富田昌義

平成29年度の予算編成方針について（通知）

このことについて、田原市財務規則第5条の規定に基づき、下記のとおり通知します。

記

1 財政見通し

- 景気は緩やかな回復基調が続いており、国は、しっかりと成長していく道筋をつけるため「未来への投資を実現する経済対策」を実施することとしている。
- 本市においては、税制改正等の影響により、予算規模の縮小が従来の想定を越える水準となることが予想されるため、行政経費削減による財政健全化の取り組みが強く求められる状況となっている。

2 予算編成の基本方針

○田原市総合計画第11期実施計画の着実な実施

総合計画第11期実施計画に掲げる各事業の着実な推進を図ることにより、長期的展望に立った計画的な施策展開を行う。

○田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

喫緊に取り組むべき課題を整理した田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って、「雇用の創出・就労促進」「定住・移住促進」等のアクションプランを推進する。

○持続可能な行財政基盤の確立

第3次田原市行政改革大綱に即した行政サービスの再構築・財源の確保を図りながら、減収危機対応プランの考え方にに基づき、予算規模縮小に対応する。

3 重点施策

予算編成の基本方針を踏まえ、次の各施策を重点施策として展開する。

・地方創生の加速

「定住・交流人口増加対策」「雇用創出」「子育て支援」、「地域の魅力・住み良さの向上」等の施策

・安心・安全の推進

「防災対策事業」「セーフティネットの充実」等の施策

・将来に向けた創意工夫

「公共施設等総合管理計画」「公共施設適正化計画」「行政サービスの民営化・トップランナー方式導入の検討」等の歳出削減に資する施策

4 予算編成方法

平成28年度に引き続き「個別査定方式」を採用することにより、全ての事業の見直しを積極的に進めるとともに、事業の重点化を行う。

5 指示事項

- (1) 毎年度、事業実績・効果・効率性等を確認し、最少費用・最大効果を実現するため、事業のスクラップ・アンド・ビルドなどにより実施内容の最適化を図ること。
- (2) 議会審議、決算審査、地域コミュニティ連合会等の実施・改善等に取り組むこととしたものは、十分に検討・調整した上で予算計上すること。
- (3) 一年間に見込まれる全ての収入・支出は当初予算に計上し、災害復旧費などで緊急やむを得ないもの以外は補正予算として対応しない。
- (4) 各課において、公共施設適正化計画による整備方針（20年間で3割減少）が整理されていない施設の維持補修は、平成29年度予算には計上できないこととする。
- (5) 特別会計は、独立採算の原則を徹底し、一般会計からの繰入金をできる限り削減すること。
- (6) 現時点では、国・県の予算、地方財政計画とも未定であるので、現行制度による見積りとなるが、その動向には予算要求後にあっても十分留意し、変更等があれば速やかに財政課に連絡すること。